

2 年次通年・必修

2 単位・60 時間

【概要・目的】

成人において長期間の治療・管理が必要とされる慢性疾患の基礎的病態について、臓器別に病因、症状、検査、治療、予後の特徴を理解する。また、身体の回復機序や疾病改善のためのライフスタイル修正策を学び、それらを踏まえた生活指導と看護上の問題解決能力を習得する。

【到達目標】

- 1) 慢性疾患の基礎的病態について説明できる。
 - 2) 慢性疾患の病態・検査・治療とその看護・ケアを関連付けて説明できる。
-

【内容・スケジュール】

- 1) ～ 3) 呼吸器疾患
呼吸器感染症、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺疾患、肺腫瘍、肺循環疾患、換気異常
 - 4) ～ 9) 循環器疾患
心不全、不整脈、虚血性心疾患、弁膜症、心筋疾患、先天性心疾患、血管疾患、血圧異常
 - 10) ～ 13) 消化器疾患
食道疾患、胃十二指腸疾患、大腸疾患、肝胆膵疾患
 - 14) ～ 15) 代謝性疾患
糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症
 - 16) ～ 17) 内分泌疾患
視床下部下垂体疾患、甲状腺疾患、副甲状腺疾患、副腎疾患
 - 18) ～ 20) 腎疾患
腎不全、慢性腎臓病、糸球体腎炎、続発性腎疾患
 - 21) ～ 23) 血液疾患
赤血球系疾患、白血球系疾患、血栓・止血疾患
 - 24) ～ 26) 膠原病・アレルギー
関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎/皮膚筋炎、強皮症、血管炎、シェーグレン症候群、薬剤アレルギー、アナフィラキシー、花粉症
 - 27) ～ 28) 感染症
細菌性疾患、真菌性疾患、ウイルス性疾患
 - 29) ～ 30) 神経疾患
脱髄性疾患、神経筋接合部疾患、筋疾患、神経系感染症
-

【評価】

筆記試験 (80%)、出席状況 (10%)、提出物 (レポート等) (10%)

【教科書】

浅野嘉延、吉山直樹 編「看護のための臨床病態学」南山堂 (発行最新版を使用)

【推薦参考図書】

系統看護学講座「成人看護学」医学書院

新体系看護学全書「疾病の成り立ちと回復の促進」メジカルフレンド社